

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 第4回委員会 議事概要

- 1 開催日時 : 平成 27 年 12 月 21 日 (月) 10:00～11:30
- 2 場 所 : 尾原ダム管理支所 (島根県雲南市木次町 211-5)
- 3 出席委員 : 速水雄一委員長、作野広和委員、勝部博委員、石原肇委員、景山孝志委員、勝田康則委員、横川裕委員、石原一志委員、舛田直樹委員

4 議事次第

- 1) 開会
- 2) 挨拶 雲南市長 速水委員長
- 3) 出席者紹介 景山委員、横川委員、石原(一)委員
- 4) 議事
 - ①尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約 (改訂案)
 - ②第3回委員会以降の取組経過の報告
 - ③平成 27 年度のプロジェクトの実施状況
 - ④早期に実施したプロジェクトの総括
 - ⑤水源地域ビジョン (概要版・中期版) への更新
 - ⑥平成 28 年度の実施プロジェクト (案)
 - ⑦その他
- 5) 閉会

5 配布資料

- ・資料-1 : 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約 (改訂案)
- ・資料-2 : 第3回委員会以降の取組経過の報告
- ・資料-3 : 平成 27 年度のプロジェクトの実施状況
- ・資料-4 : 早期に実施したプロジェクトの総括
- ・資料-5 : 水源地域ビジョン (概要版・中期版) への更新
- ・資料-6 : 平成 28 年度の実施プロジェクト (案)

6 議事要旨

1) 議事

①尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約 (改訂案)

- ・推進委員会規約の改定案について、事務局より3点の改正箇所 (景山委員、横川委員、石原(一)委員の就任) を示し、特に意見等はなく承認された。

②第3回委員会以降の取組経過の報告

- ・事務局より、第3回委員会以降の取組経過について報告が行われ、承認された。

③平成 27 年度のプロジェクトの実施状況

- ・平成 26 年度のプロジェクト実施状況について、事務局より資料に沿って説明が行われた。
- ・「(14)-1 サイクリングコースの活用」について、「⑥ランバイク大会」は大変な反響があった。今後とも四季を通じて開催できるように、関係者の方に協力をお願いしたい。
- ・常時施錠している出入口を開放するなど、使い勝手を良くする方向での検討は可能である。

- ・「(1)-3 教育機関との連携」については、島根大学や大阪市立大学のグループによる活動実績があるので、報告書に追記する形で記載していく。
- ・「(3)-1 企業との連携（CSR 活動）」について、ビジョン等に齟齬がでないように「ゴミ」というカタカナの表現を「ごみ」とひらがなに変えるよう検討する。これにより、汚いものではなく「資源」という前向きな意識に変わることが期待される。

④早期に実施したプロジェクトの総括

- ・「(5)-1 情報発信の促進」に関して、「さくらおろち湖」と「尾原ダム」の定着度に差が出ている。カーナビやインターネット大手検索結果で「尾原ダム」は表示されるが、「さくらおろち湖」は表示されないで、「さくらおろち湖」が表示されるような取り組みが必要である。
- ・「さくらおろち湖」と「尾原ダム」を両方表示させていく。地図情報会社へのプロモートや、ヤフーやグーグルなど検索サイトへの資金投入などの取組は可能である。
- ・「来年3月までに検索結果の上位に名を連ねる」など、具体的な目標を定めて皆で実施していく。
- ・さくらおろち湖では様々なイベントが展開されており、他のダム湖と差別化が図れる状態であるのに、数多くの情報に埋もれて差別化できていない。インターネット技術を活用して広く世間に情報を届けなければならない。
- ・地域づくりイベントを通してNPOや学生団体などとのコラボレーションを図り、様々な意見をもらったり情報発信を展開したりするべきである。

⑤水源地域ビジョン（概要版・中期版）への更新

- ・資料を基に事務局より説明を行い、承認された。

⑥平成28年度の実施プロジェクト（案）

- ・資料を基に事務局より説明を行い、承認された。

⑦その他

- ・雲南市政策企画部地域振興課より以下の補足説明が行われた。
 - ・トレイルランニングへの参加者が増加傾向である。
 - ・ランバイクやロゲイニングなどの大会も好評を得ている。
 - ・県協会の協力を得ながらトライアスロン大会の開催を目指している。
 - ・ボート競技のインターハイ開催に向け魅力発信に力を入れていく。

2) 今後の予定等

- ・規約に基づき、本日の審議要旨をとりまとめ、委員長の下承を得た上で、議事要旨等を出雲河川事務所ホームページに公開する。その際には事務局より各委員に通知する。

以 上